

# 投資にまとまった資金は必要ない！？ 「ラテ・マネー」で始める少額投資

年金の受給年齢の段階的な引上げにより継続雇用制度が拡充し、雇用期間が延長されて長く働くことができるようになりました。とはいえ、全く同じ条件で現役時代が延長されているとはいえませんが現状で、待遇や雇用形態から見ても、いつまでも働き続けることは容易ではないようです。

今回は、お金にも働いてもらうために、手軽に始められる投資のアイデアを紹介します。

## 「まとまった資金」の思い込み

資産形成の方法として多くの方に身近なものとして貯蓄や投資があります。貯蓄は、銀行等への預金が一時的です。一方、投資は株式や債券、投資信託、REIT、ETFなど、有価証券の購入が一般的といえます。

図表1は、投資の経験がない1,135人に対して金融庁が実施したアンケートの結果です。「投資は資産形成に必要なと思うが、投資を行わない理由」として、最も回答が多かったのが「まとまった資金がないから」というもので73.2%と突出しています。

「まとまった資金がない」から投資をしないと回答した層は、比較的若年層が多いことが特徴です（図表2）。こうした層に、少額からの積立投資に対する考え方が広がり、積立投資の利用機会が提供されれば、投資に対する資金面のハードルを引き下げられる可能性が高くなると考えられます。

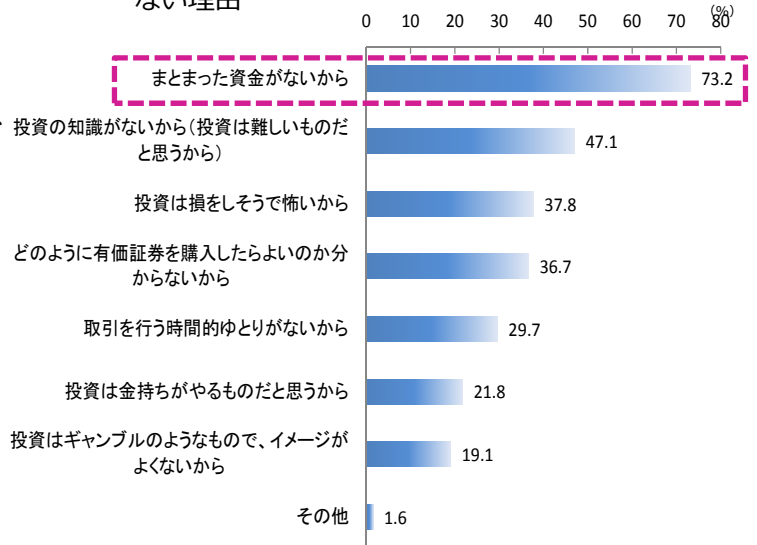
## 「塵も積もれば」のラテ・マネー

「ラテ・マネー」\*という言葉を知ったことがあるでしょうか。カフェ・ラテを買うような金額、つまり日常的にカフェやコンビニで数百円程度、何気なく出費しているお金のことです。インターネット上の有料サービスや、予定外のちょっとした買い物など、該当する出費は多種多様です。

ラテ・マネーは、1回毎はわずかな金額といえます。しかし、仮に500円を1ヵ月30日使うとすれば1ヵ月間で15,000円、年間18万円、10年間で180万円になります。何気なく使っている日々の積み重ねが、長い期間を経てまとまった資金に積み上がっていくことがわかります。

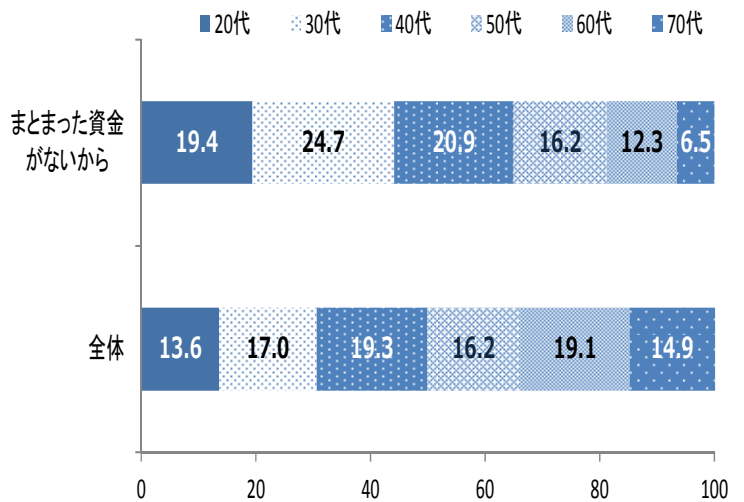
\*「ラテ・マネー」は米国の資産コンサルタントのデヴィッド・バック氏が著書『The Automatic Millionaire』（邦訳『自動的に大金持ちになる方法-オートマチック・ミリオンア-』）の中で紹介した言葉

図表1 投資は資産形成に必要なと思うが投資を行わない理由



(注) アンケートは複数回答による  
(出所) 金融庁「国民のNISAの利用状況等に関するアンケート調査」(2016年2月実施)を基に岡三アセットマネジメント作成

図表2 「まとまった資金がないから」と回答した者の年代構成



(出所) 金融庁「国民のNISAの利用状況等に関するアンケート調査」(2016年2月実施)を基に岡三アセットマネジメント作成

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



### ラテ・マネーが大きく育つ可能性

図表3は、毎月15,000円を30年間、年率3%で積み立て投資するとしたシミュレーションです。

ラテ・マネーの元本は、30年間で総額540万円に積み上がるほか、運用収益は334.1万円で、総額874.1万円となります。これは投資で得た収益を元本と合わせて再投資することで複利効果が働いたためです。再投資が長期間にわたって繰り返されることで、より大きな収益が得られる可能性があることがわかります。

当シミュレーションは、金融庁のウェブサイト毎月の積立金額、想定利回り（年率）、積立期間を入力することにより、作成することができます。

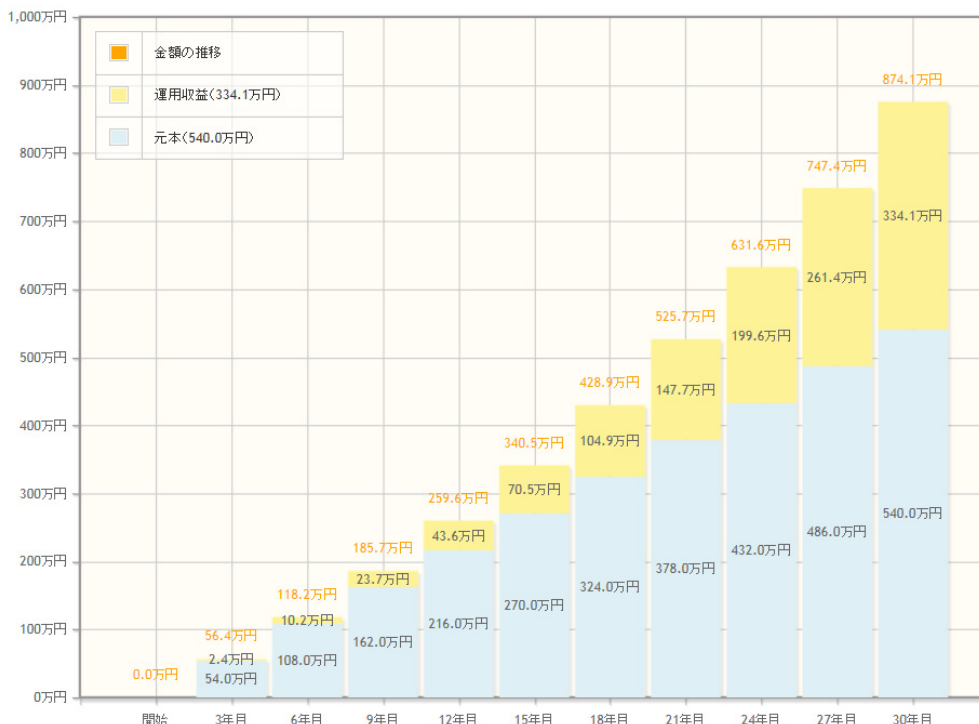
### 少額でできる積み立て投資

ラテ・マネーを投資に振り向けるには、どのような方法があるでしょうか。

投資の経験のない方でも、少額で手軽に投資できる仕組みの一つとして投資信託の積み立てがあります。これは、運用を専門家に任せる「投資信託」という仕組みを利用して、少しずつ積立投資するものです。このほか、2018年1月から2037年まで利用できるもので「つみたてNISA(少額投資非課税制度)」という制度もあります。いずれも投資信託を積み立てで購入していくため、どのタイミングで投資すればよいのか、ということに悩む必要がありません。

毎日1杯カフェ・ラテを買ったつもりで「つもり投資」から始めてはいかがでしょうか。

図表3 積み立て金額と運用シミュレーション



(注) 毎月15,000円を30年間積み立て、年率3%で運用するとして年1回の複利計算をした概算値。手数料、税金等は考慮しておらず、実際値とは異なる場合があります。

(出所) 金融庁 [https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/moneyplan\\_sim/index.html](https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/moneyplan_sim/index.html)

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

以上 (作成：投資情報部)

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。